

津曲隆教授への献辞

総合管理学部長 澤田 道夫

津曲隆先生は宮崎県のご出身で、豊橋技術科学大学大学院工学研究科で学ばれ1990年に工学博士の学位を取得されました。その後、都城工業高等専門学校の助手、同専任講師、同助教授を経て、1994年4月に誕生したばかりの熊本県立大学総合管理学部の助教授として着任されました。2003年4月からは教授となられ、学部黎明期からこんにちに至るまで30年間の長きにわたり総合管理学部の発展のためにご尽力いただきました。また、2014年4月から2018年3月までの4年間は、熊本県立大学の理事・副学長として大学全体を牽引していただいたところです。2021年4月に共通教育センターが設置されてからは、同センターの教授としてセンター運営に中心的な役割を果たされました。2024年3月末日付で定年退職されるにあたり、津曲先生のこれまでのご貢献に対して感謝の意を表し、記念号を捧げます。

津曲先生のご専門は情報学です。当初は電気工学についての研究に携われ、米国カリフォルニア大学アーバイン校において1999年9月から2000年8月まで在外研究も行われました。本学においては、特に地域社会における情報の活用について、自治体における地域情報化をテーマに研究を進めてこられました。先生のご研究における地域情報化とは、単なるICTの活用にとどまらず、実際に地域社会に入り込んでその中に存在する地域の魅力や宝といった地域資源を発見し、それを発信していくというものです。そのお考えのもとに、熊本県内の様々な自治体と連携した調査研究に積極的に取り組み、当該地域のまちづくり、地域振興に大いにその力を発揮してこられました。

また、近年ではキャリア教育にかかる研究とその実践についても熱心に取り組まれてこられました。これからの大学における人材育成にますます重要となるキャリア教育について、本学における中心的な存在として全学での推進にご尽力され、その成果は、本学の特徴的な教育として定着した「もやいすと育成プログラム」、教学IR室における学修成果の評価体制の構築、初年次からのキャリア意識の醸成のためのキャリア形成論の必修化等に結実しています。このような先生の教育研究の業績は、熊本県立大学および総合管理学部の評価を大いに高めたことは言うまでもなく、これまでの先生のご尽力に感謝する次第です。

学内業務においても、これまで学部および大学の様々な委員をお務めいただきました。特に、2014年4月から4年間、副学長の重責を担い、大学のカリキュラムを見直し初年次教育の充実に向けた改革に先鞭をつけていただくなど多大なるご貢献をいただいたこと、誠に感謝の念に堪えません。また、地域貢献の面におかれましても、県内の多数の自治体における審議会の会長や大学基準協会における大学評価委員、各種の教育機関における研修講師等、熊本県内のみならず全国に至るまでその幅広い見識をもってご指導をいただいたところです。

最後になりますが、総合管理学部発足以来30年の間、本学学生の教育と学部の発展のために

ご尽力いただいた津曲先生に学部を代表して感謝の意を表するとともに、ご退職後のご健勝と更なるご活躍を切に祈念する次第です。津曲先生、長い間本当にお世話になりました。そして、お疲れ様でした。